

E52 中部横断自動車道（静岡～山梨間）全線開通 ～東名高速道路と新東名高速道路、中央自動車道が高速道路で直結！～ 〈道路の概要と整備効果について〉

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所 計画課

1 はじめに

甲府河川国道事務所が事業を進めてまいりました中部横断自動車道（富沢～六郷）のうち、南部 IC ～ 下部温泉早川 IC 間（延長約 13.2km）が、令和 3 年 8 月 29 日（日）16 時に開通しました。これにより、静岡～山梨間が全線開通し東名高速道路と新東名高速道路、中央自動車道が高速道路により直結することとなりました。

開通に先立ち、開通式典及びセレモニーを新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、感染防止対策を徹底したうえで執り行いました。

式典及びセレモニーでは、山梨・静岡の県知事、関係国会議員、沿線首長、議会関係者、関係団体代表など約 130 名の来賓の方々にご臨席いただき、つつがなく挙行することができました。



写真 1 開通式典の様子



写真 2 テープカット、くす玉開きの様子

2 路線の概要

2.1 中部横断自動車道の概要

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点に山梨県甲斐市などを經由して長野県小諸市に至る高速自動車国道です。新東名高速道路をはじめ、中央自動車道、上信越自動車道と接続され、太平洋及び日本海の臨海地域と山梨・長野との連携・交流を促進するとともに、沿線の方々が安心して暮らせるネットワークの構築、物流体系の確立などの重要な役割を果たすことが期待されています。

本道路は、昭和 62 年 6 月、高規格幹線道路として閣議決定され、同年 9 月、静岡県清水市（現静岡市）から長野県佐久市間を予定路線として決定し、その後順次、基本計画決定、施行命令が出されています。

今回開通した新東名高速道路から中央自動車道の区間については、当初日本道路公団（後の中日本高

速道路株式会社）が施行を担当し、平成 14 年 3 月、白根 IC から双葉 JCT 間（延長 6.8km）が初めて
開通しています。

2.2 直轄高速方式による施行

平成 18 年 2 月、山梨県南部町の富沢 IC から同県市川三郷町の六郷 IC の区間（28.3km）が直轄高
速方式による整備に変更されたことから、甲府河川国道事務所が当該区間を担当し整備することになり
ました。当該区間については、平成 18 年度から用地買収に着手、平成 21 年 3 月からは、南部町内にお
いて起工式を開催し、順次、他の区間についても着工、開通してきました。



図 1 静岡～山梨間の路線概要

2.3 工事の難所～トンネル 5 割、橋梁 2 割～

当該区間は、糸魚川・静岡構造線の付近を並行して計画されていることから地質が脆く、トンネルの
工事では、掘削面の崩落や断面変形、さらに湧水や掘削土に重金属が含まれるなどの難航事象のなか追
加対策を行い、併せて安全対策を実施しながら進めました。また、富士川沿いの急峻な山岳地帯を通過
することから、延長の約 5 割がトンネル、約 2 割が橋梁と構造物の多い道路となっています。

■計画概要

■ 路 線 名	中部横断自動車道（富沢～六郷）
■ 区 間	自）山梨県南巨摩郡南部町 至）山梨県西八代郡市川三郷町
■ 延 長	28.3km
■ 車 線 名	4車線（当面2車線で整備）
■ 構造規格	第1種3級
■ 設計速度	80km/h
■ 幅 員	20.5m（当面10.5mで整備）

■構造物の割合

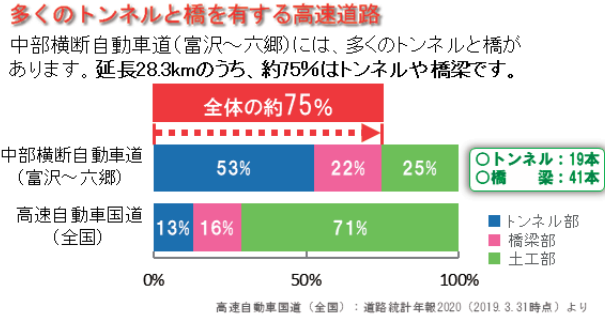


図 2 道路の構造

3 中部横断自動車道の整備効果

3.1 所要時間の短縮

今回の開通により、山梨県から静岡県の県庁間の所要時間が約70分短縮され95分となり、この時間短縮により、物流の効率化、産業の活性化、観光交流の拡大による地域雇用の創出など、地域経済の活性化も期待されます。

■移動時間(山梨県庁～静岡県庁)

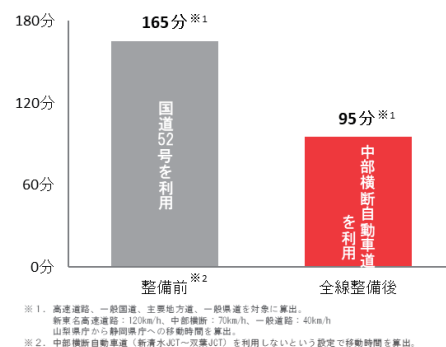


図3 移動時間の短縮効果

3.2 山梨県から清水港(国際拠点港湾)へのアクセス向上による海外輸出の促進

山梨の主要農産品であるモモ・ブドウ等の青果物の海外への輸出は、山梨県知事のトップセールスをはじめとした海外への山梨ブランドのアピールを積極的に取り組み、増加傾向にあります。

中部横断自動車道の整備により、山梨県から国際拠点港湾までの輸送時間が最大約80分短縮(【整備前】東京港・横浜港:約180分、清水港:約160分⇒【整備後】清水港:約100分)され、合わせて清水港では農水産物の輸出促進に向け、リーファーコンテナ電源供給設備等の整備を実施しております。

中部横断自動車道の整備、清水港の取り組みの相乗効果により、海外輸出をさらに促進されることが期待されます。

山梨県から輸出港(国際拠点港湾)までの輸送ルート

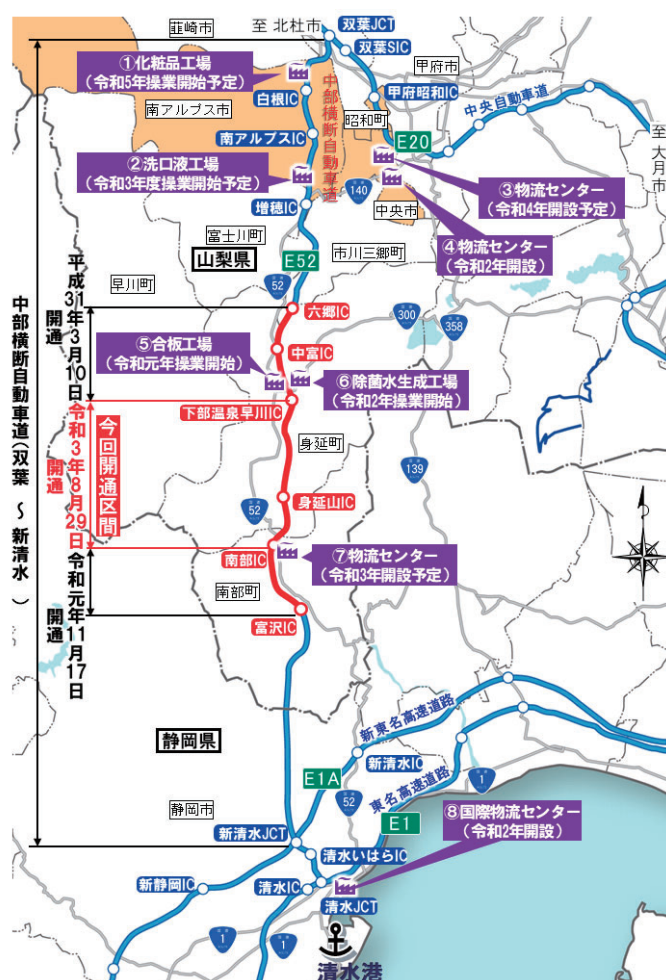


図4 山梨県から輸出港までの輸送ルート

3.3 企業立地促進などの効果の発現

今回の開通にあわせ、中部横断自動車道の沿線では、高速道路への良好なアクセス性から、既に新たな企業立地が進展しており、地域の雇用創出に貢献しています。

山梨～静岡間の全線開通により、更なる企業立地の進展、それによる地域の雇用創出、地域の産業振興への貢献が期待されます。



	開設時期	所在地	業種等
①	令和5年 操業開始予定	南アルプス市	化粧品工場
②	令和3年度 操業開始予定	南アルプス市	洗口液工場
③	令和4年 開設予定	中央市	物流センター
④	令和2年開設	中央市	物流センター
⑤	令和元年 操業開始	身延町	合板工場
⑥	令和2年 操業開始	身延町	除菌水 生成工場
⑦	令和3年 開設予定	南部町	物流センター
⑧	令和2年 開設	静岡市	国際物流 センター

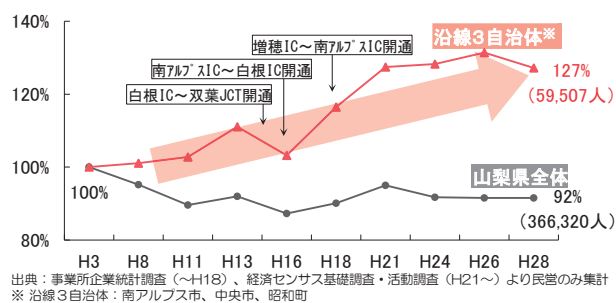


図5 中部横断自動車道沿線への新たな企業立地

3.4 富士山を囲む広域周遊観光ルートの形成による観光振興などの効果

中部横断自動車道の全線開通により、富士山を囲む高規格道路ネットワークが形成されました。

これにより、富士山を囲む新たな広域周遊観光ルートが形成され、首都圏・中京圏からの国内観光や富士山静岡空港・清水港を玄関口としたインバウンド観光をはじめとする山梨・静岡両県における観光の活性化が期待されます。



図6 富士山を囲む広域周遊観光ルートの形成

4 おわりに

中部横断自動車道の残るミッシングリンクである山梨県北杜市長坂から長野県佐久穂町八千穂までの区間については、山梨県及び長野県において都市計画及び環境影響評価の手続きを開始したところであり、甲府河川国道事務所としても山梨県等の関係自治体と連携して、ミッシングリンクの解消に向け取り組んで参ります。